2023年度　日本看護技術学会　第21回会員総会議事録案

日時：2023年10月14日（土）16：15〜17:15
会場：市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)
　　第1会場　1F　大ホール
出席者：理　事；角濱　春美（理事長）上野　栄一、大久保　暢子、佐伯　由香、
　　本庄　恵子、前田　ひとみ、水戸　優子、若村　智子
　監　事；武田　利明、深井　喜代子
　選挙管理委員会；佐々木　新介
　第22回大会長　；矢野　里香
　事務局；伊津野、中村

議題：
2022年度事業報告
角濱理事長より2022年度の事業の報告として、理事会を４回、書面理事会を７回、社員総会、会員総会、学術集会をそれぞれ開催したことが報告された。また若村理事より庶務報告として会員数、入会者数及び退会者数が報告された。

各種委員会の報告は下記の通りである。
（１）　編集委員会
　前田理事より JANA の論文投稿ハンドブックの取り扱い、および査読期間が短縮していることが報告された。
（２）　研究活動推進委員会
　水戸理事より第19回学術集会で、最優秀賞、ならびに卒業研究セッション最優秀賞の表彰式の開催、交流セッションの企画と開催、第20回学術集会の優秀演題および最優秀賞、卒業研究交流セッション最優秀賞を選出したことが報告された。
（３）　技術成果検討委員会
　大久保理事より第20回学術集会で交流セッションを企画・開催、全国キャラバン隊の開催が報告された。
（４）　広報委員会
　上野理事よりニュースレターを年に２回発刊。学会ホームページの整理、および維持管理を行っていることが報告された。
（５）　倫理委員会
　若村理事より著作権表示文の配信、学術集会の演題登録画面で利益相反の対応は求

めないことの確認。委員会刊行物に関する著作権の検討をしていることが報告された。

2. 2022年度会計報告

佐伯理事より2022年度の会計報告と、社員総会にて異議なく承認されたことが報告された。続いて、武田監事と深井監事から監査結果が報告された。

3. 2023年度事業計画

角濱理事長より2023年度の事業計画が報告として、理事会、定時社員総会、定時会員総会、第21回学術集会の開催が報告された。

各種委員会の事業計画は下記の通りである。

（１） 編集委員会

前田理事より査読マニュアルや論文種類の基準を作成すること、査読者の増員をすることなどが報告された。

（２） 研究活動推進委員会

水戸理事より第20回学術集会において最優秀賞、卒業研究交流セッションの最優秀賞の表彰式、研究活動推進委員会若手の会主催の交流セッション企画・運営、第21回学術集会時の優秀演題・最優秀賞・卒業研究交流セッションの選考計画が報告された。

（３） 技術研究成果検討委員会

大久保理事より全国キャラバン隊の開催や本学会からの診療報酬申請の有無を検討するため看保連からの情報収集を行い診療報酬申請について検討を進めていることが報告された。

（４）広報委員会

上野理事より委員開催予定回数とWord Pressの導入を検討していることが報告された。

（５）倫理委員会

若村理事より交流セッションの企画、刊行物の著作権に関する注意事項の作成、看護技術および学会の倫理を検討していく予定であることが報告された。

（６）選挙管理委員会

佐々木選挙管理委員長より投票率をさらに上げるためポスターの掲示や投票のお願いがあり、現在の投票率が20.3%であることが報告された。

（７）20周年記念事業

水戸理事より20周年記念誌の販売が開始したこと、30周年記念事業に向けて写真記録の仕組みづくりを行うことが報告された。

4.　2023 年度予算案
佐伯理事より 2023 年度予算（案）が説明され、社員総会にて異議なく承認されたことが報告された。

5. 第 24 回学術集会の件
角濱理事長より 2026 年に大久保理事を大会長として開催されることが報告された。

6. 第 23 回学術集会の件
角濱理事長より 2025 年に若村理事を大会長として開催されることが報告された。

7. 第 22 回学術集会の件
矢野次期学術集会長より 2024 年 10 月 26 日（土）・27 日（日）に札幌市教育文化会館にて「看護技術の哲学と実装」をテーマに開催されることが報告された。

8. 名誉会員について
角濱理事長より菱沼典子氏が 2024 年 4 月から名誉会員に就任することが報告され、菱沼氏より就任のご挨拶を頂戴した。